

# 江戸園芸のメロッド

「江戸っ子たちの花めぐり」



①



②



③



④

- ①一猛斎芳虎画「流行菊花揃 巢鴨通植木屋弥三郎」
- ②閑根雲停画「万年青七種 金魚葉椿 斑入薔薇 松葉蘭」
- ③一猛斎芳虎画「流行菊花揃 染井植木屋金五郎」
- ④大岡雲峰画、台谷翠雲書「南天奇品写生五木」

入館無料

「地植え園芸」から「鉢植え園芸」へ

みなさまを江戸園芸のテイープな世界へ誘います

## 豊島区立郷土資料館

〒171-1002

東京都豊島区西池袋2-137-4

としま産業振興プラザ（IKE・BIZ）七階

☎03-3980-2351



2026年4月18日(土) ▶ 6月21日(日)

閉館時間 9時00分～16時30分

休館日 月曜日(5月4日は開館)、5月7日(木)



# 江戸園芸のメソッド

「江戸っ子たちの花めぐり」

一六世紀末に江戸へ入府した徳川家康により江戸の町は整備されます。その後、幕府政策のひとつである参勤交代制度が定着し、寺町の郊外移転や大名下屋敷の郊外設置が進む寛永期（一六二四～四三）以降、町の範囲が外側へ拡大し、江戸の町が巨大化していきます。

こうした政策や現象に伴い、①地方（大名の国元）に所在する植物や園芸技術の江戸への流入、②江戸武家屋敷における庭園文化の洗練化、③植木屋の工夫・繁栄と園芸市場の発展、④植物（草花・樹木）の楽しみ方の多様化とその支持者層の拡大、といった江戸の緑地空間や植物と人々の関わりを示す独特な植物栽培文化、植物観賞文化が一七世紀半ばから一九世紀後半までの約二〇〇年余にわたり展開します。

今回の収蔵資料展では、こうした江戸ならではの園芸文化のあり方を「江戸園芸（えどえんげい）」と定義し、当館所蔵の園芸関係資料を通してその特徴を解説、そして明治時代以降の方向性を考察していきます。



①



②



③

## 「江戸園芸のメソッド」関連イベント

### ■記念講演会

演題：植物図譜から『牧野日本植物図鑑』へ  
～植物画・植物図の楽しみ方～

日時：6月13日（土）14:00～15:30

講師：田中純子氏（練馬区立牧野記念庭園学芸員）

定員：100名（事前申し込み制、5月1日より受付、4月下旬以降 当館のホームページをご確認ください）

会場：としま産業振興プラザ6階多目的ホール

### ■ワークショップ

ソメイヨシノDEコースターづくり

\*ソメイヨシノの花びらを台紙に配置しラミネートフィルムでコーティングしてオリジナルのコースターを作ります

日時：5月17日（日）14:00～15:30（事前申し込み不要）

### ■学芸員によるスライドトーク

\*展示の概略および展示では表現が難しいウラ話について、資料等のスライドを見ながら、担当学芸員が解説をします

日時：①5月3日（日）②5月31日（日）③6月14日（日）  
各日14:00～15:00（3回とも同じ内容になります）

定員：40名（事前申し込み不要、直接会場へ）

会場：としま産業振興プラザ（IKE・Biz）6階第3会議室

### ■展示見どころ解説

①4月25日（土）14:00～14:40（常設展＋収蔵資料展）

②5月23日（土）14:00～14:40（常設展＋収蔵資料展）

\*事前申し込み不要、当日展示室へお越しください。

### ■「むじなくん」とめぐるクイズラリー（会期中全期間）

\*展示にまつわるクイズ5問に解答した方へ、オリジナルむじなくんステッカーをプレゼントします



④



⑦



⑤



⑧



⑥

①狩形意斎画「江戸一目図屏風」（津山郷土博物館所蔵、パナー展示）②歌川広重画「江戸名勝図会 染井」③一益齋芳虎画「駒込・染井・奥鴨菊の見掛案内一覧ノ地図」④歌川胡蝶園画「流行菊の花揃 奥鴨植木屋第三郎」⑤歌川広重画「名所江戸百景 亀戸梅屋舗（複製版）」⑥歌川国芳画「百種接分菊」⑦伊藤伊兵衛著「地錦抄ソリース」（一部個人蔵）⑧青山種樹家金太撰「草木奇品家雅見」（複製版）⑨水野忠晴撰「草木錦葉集」（複製版）